

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	NPO法人児童デイノバナケア		
○保護者評価実施期間	令和6年9月23日(月)		～ 令和6年10月15日(火)
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和6年9月27日(金)		～ 令和6年10月15日(火)
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月23日(水)		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い空間を活用し、体を動かすプログラムやボールプール等のスペースがあり、フロア全体がマットで覆われているため、安全面にも配慮されていること。	身体を動かす際に周りの人とぶつかったり、怪我に繋がらないよう、人員を適切な場所に配置している。 ボールプール内に危険なものが入っていないか日々確認をし、定期的に清掃も行っている。 児童が過ごす中で、危険だと思われる場所の改善を随時行っている。	清潔に保つために劣化したマットの張り替えや、施設の点検を随時行っている。 ボールプールのボールの補充や割れているボールの撤去作業も随時行っている。
2	長期休暇・祝日・学校休校日に対し、保護者様の要望に合ったサービス提供時間の営業を行っていること。	児童の送迎は可能な限り要望に合わせて実施している。	保護者様の急な予定変更に対しても臨機応変に対応している。
3	職員の専門性の向上に日々研鑽していること。 日々の活動においてスタッフ間での情報共有や話し合いがしっかり行われていること。	支援前後に、より適切な対応ができるようにミーティングを行っている。 保護者様とのコミュニケーションを大切に、児童の情報共有のため、詳しく説明することを徹底している。	外部研修を受講する。 学校や関係機関と連携し、児童の現状を把握したうえで、日々の支援を行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	主な支援スペースが広い空間であることが長所でもあるが、一定の児童のクールダウンが難しい。	空間の構造化が難しい。	児童に応じて、個室対応をする。 例えば、学習やクールダウンをする場合は学習室や別室対応をしている。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	NPO法人児童デイノバナケア	公表日	令和6年 11月 1日
		利用児童数	32名
		回収数	21名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	2			広いスペースなので、のびのびと子供たちが過ごせていると思う。	スペースに関しては、広々としたメインフロアをはじめ、個室や学習室も充実しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	1	1			今後も、引き続き適切な人員配置や増員を行います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	2	2			室内は段差も少なく、安全面を考慮した構造になっています。情報伝達に配慮していますが、今後も検討を重ね、より良いサービス提供を目指します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	3			学習スペースやクールダウンできるスペースもあり、状況に応じて使い分けできるのでいいと思っている。	ビル全体が古いので清潔感は乏しいですが、清掃は毎日欠かさず行い、プログラムに応じて適切なスペースを確保しています。定期的にホールプールの清掃や生活環境を整えています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1	1		本人が楽しく通所でできているので適切な支援が受けられていると思います。	引き続き、継続します。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21				特性を理解し、保護者側の意見を組み込み、本人に合う支援計画を作成してくださっています。	引き続き、継続します。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	1	1		本人の苦手とすることや課題をしっかりと考えてくださり、今後どうすべきかをわかりやすく説明してくださいました。	契約時や個別面談時のアセスメントを始め、日々のサービス提供を通し、本人と保護者様のニーズや課題を把握し、個別支援計画を作成します。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	1				本人の状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた、個別支援計画を作成し、個別支援計画には、支援に必要な支援内容をよりわかりやすく明記します。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21					個別支援計画に沿った支援を実施しています。どうしても困難な場合などは必要に応じて他事業所や相談支援専門員との連携を図り、計画の見直しを行います。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	2				引き続き、固定化されない様に検討しますが、必要と思われるプログラムは固定で行う場合もあります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	4	3	8		今後も交流は考えていません。当事業所内でのより良いサービス提供に尽力します。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20		1		変更等がある都度、説明してくださいました。	引き続き、継続します。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20		1			個別支援計画に沿った支援を実施しています。どうしても困難な場合などは必要に応じて他事業所や相談支援専門員との連携を図り、計画の見直しを行います。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	4	2	5	個別にも悩み等を聞いてくださった。時間を十分に設けて、本人についての対応や悩みを相談に乗ってもらいました。私(親)の精神面もすぐ支えられています。安心して通所させることができます。	引き続き、継続します。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20	1				引き続き、継続します。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21				とても詳しい説明がされるので安心して子供を任せることができます。	引き続き、継続します。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21				親と同じ目線でどういう支援が適切かを考えてくれている。	送迎時など、保護者様に様子や支援内容を報告しています。また、必要に応じて電話連絡などで共通理解ができるように努めています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19			2	必要がないと思います。	今後も父母の会等の活動は検討していません。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	5	3	9	子供の変化、成長、困りごとを相談すると、すぐにいろいろな方法を考え、一緒に模索してくれる。	引き続き、継続し周知に努めます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1	1	1		引き続き、継続します。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	1		1		引き続き、継続します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1		1		引き続き、継続します。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	2				引き続き、継続します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	2		1		引き続き、継続します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21					引き続き、継続します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21					引き続き、継続します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	1			本人は通所をとても楽しみにしています。迎えに行っても帰りたくない時もある位、のびのびと過ごすことができている様子です。	引き続き、継続します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1			職員さんたちの丁寧な支援のおかげです。安心して通所させることができ、大満足です。ありがとうございます	引き続き、継続します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1			安心して通所させることができ、大満足です。ありがとうございます。	引き続き、継続します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	NPO法人児童デイノバナケア				公表日	令和6年 11月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2		その日のメンバーによっては、広過ぎると思う日もある。広過ぎることが適切ではない利用者様が増えている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	5		制度上の人員はクリアしていても、支援が特に必要な児童が多い日は足りないと思うことがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2		フロアが広く、ボールプールがあることで学習に集中できなかったり、プログラム中に気が散ってしまうことがある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	遊びや体を動かす環境としては整っている。学習等は別の階に学習室がある。毎日の掃除・消毒で清潔な環境を保っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	3Fにはフロア内に個室、6Fには学習室、16:00以降は、4F/5Fも使用できる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	努力している。	PDCAサイクルとは、Plan→計画 Do→実行 Check→評価 Action→改善前段の支援では、素早い判断が求められるため、OODA（ワード）サイクルが主流になっている。Observe→観察 Orient→状況判断 Decide→意思決定 Act→行動
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	つなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	つなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	発達支援センターの方に来所していただき、支援内容の改善が必要であれば、評価を参考にしている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	外部の研修には積極的に参加している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	個別支援計画作成会議を担当の児童指導員と行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	個別支援計画は、写真に撮り、LINEで共有し、いつでも見れるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	個別面談や送迎時、保護者様の聞き取りなど、インフォーマルアセスメントをしています。発達検査の結果など、保護者様からいただいた情報は、職員間で共有しています。	インフォーマルアセスメント 行動観察や面接での言動、本人や保護者様からの聞き取りなどから情報を集める。 フォーマルアセスメント 知能検査・発達検査など、標準化された検査を実施する方法
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	個別の支援計画に記載し、実行している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	従来からのプログラムを多く採用しており、変化は少ないが、利用者様は安心されている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	プログラムの数は決まっているが、毎回、同じにならないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援開始までに必ずしている。気になることは、LINE等で共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	その日に打ち合わせができない場合は、翌日の支援開始までに必ずしている。気になることは、LINE等で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	個人の連絡ノート以外に、振り返りシートを活用し、子どもたちの様子を記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	最低でも6ヶ月に1回、個別支援計画作成前には必ずしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1	「4つの基本活動」とは・・・ ・自立支援と日常生活の充実のための活動 ・創作活動 ・地域交流の機会の提供 ・余暇の提供	地域交流の機会の提供は行っていません。今後も行う予定はありません。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	自己決定支援は、なるべくするようにしている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者の他に、各児童の担当児童指導員が出席するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	いつでも連絡が取れるようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	就学先の学校といつでも連絡が取れるようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		就学前の情報は可能な限り、求めている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	これから取り組もうとする支援、または今、取り組んでいる支援について、スーパーバイザーにアドバイスや指導をしてもらう。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		児童クラブを利用している児童については、日々の情報共有はできているが、こども同士の交流の場は現在ない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		コロナ前は参加していたが、最近は参加できていないので、参加するようにしていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	保護者様とは連絡ノートでのやり取りの他に、送迎時にその日の様子は必ず伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	家族に対する支援は、保護者様から相談があれば、その都度、対応している。	ペアレントトレーニングとは、子どもとの関わり方や子育ての困りごとを解決することを目的としたプログラムだが、今は実施していない。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時や受給者証に変更があった場合は必ず説明している。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	年1回の個別面談、その他、相談があればいつでも話を聞くようにしている。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	必ず、児童発達支援管理責任者が保護者様に直接説明して、同意してもらっている。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	相談があれば、いつでも聞くようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		父母の会は作っていない。 今後も予定はない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	相談があれば、いつでも対応できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	年4回、ノビナケアだよりを発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	気を付けている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		地域の方との交流はしていない。 今後もその予定はない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	年2回の避難訓練実施。 避難訓練に参加できなかった児童にも、チラシを作成し配布している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	策定している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時や個別面談時にアセスメントをし、保護者様に確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	食物アレルギーのある児童は、契約時や年1回のフェイスシートで確認している。	医師による対応は把握できていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	安全計画は作成済。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	保護者様へは、今回のアンケートに同封して周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	個別支援計画に記載し、説明時に保護者様の同意を確認している。		